

支え合い、確かめ合って進める校内ルール

1 安全でゆきとどいた学校

- ①毎朝の健康観察を確実に実施する。普段と違うことを敏感に感じ取り、情報共有できるようにする。
- ②発作など何か異常があれば周囲に知らせ、細かい観察と保健室や管理職へ速やかに連絡をとり、対応する。
- ③車いすや装具、遊具や施設設備は使用前に確認をする。
- ④児童生徒を安全に指導支援、介助するため、次のことに配慮する。
 - ・上靴、下靴はかかとのあるものを履く。
 - ・児童生徒を傷つける恐れのある装身具や腕時計ははずして指導にあたる。
 - ・活動を行うにふさわしい服装・頭髪・爪などに留意する。
 - ・ティームティーチングを意識し、常に組織として指導支援を行う。
 - ・家庭訪問や個別懇談等は複数で行い、より確かな情報共有、理解と対応を行う。

2 人権を大切にしたい指導支援ができる学校

- ①児童生徒の生活年齢に応じた接し方や呼称に留意する。
- ②常に児童生徒の立場に立ち（心身の状態の把握、寄り添い）、指導支援（いじめや体罰と誤解されない言動、意図や根拠が説明できる言動による指導等）を行う。
- ③生活年齢を考慮し、中学部以上は同性介助を原則とする。

3 情報セキュリティが確立していて個人を守れる学校

- ①岡山県の情報セキュリティポリシーおよび、校内の情報セキュリティポリシー運用規程を厳守する。
 - ・個人情報保護（写真、ビデオデータの取り扱い）
 - ・デジタルデータの取り扱い（紙媒体を含む）
- ②私用携帯電話等を利用して保護者や児童生徒と連絡を取り合わない。
- ③私用携帯電話等を教室等へ持ち出さない。やむを得ず持ち出す時には管理職へ届け出る。

4 危機管理意識が高く、リスクマネジメントができる学校

- ①危機管理意識を持ち、素早い報告・連絡・相談による、組織対応を行う。
 - ・危機管理のさ・し・す・せ・そができるようにする。・・・裏面参照
- ②常に教育公務員としての自覚や大人のモデルとして社会人の常識をもって行動する。（サービス、挨拶、時間管理、服装、交通ルールの順守など）